

経済指標レポート 第235号

(社)関西経済連合会 経済・経営グループ(担当:壺井)

Tel: 06 - 6441 - 0102 Fax: 06 - 6441 - 0443

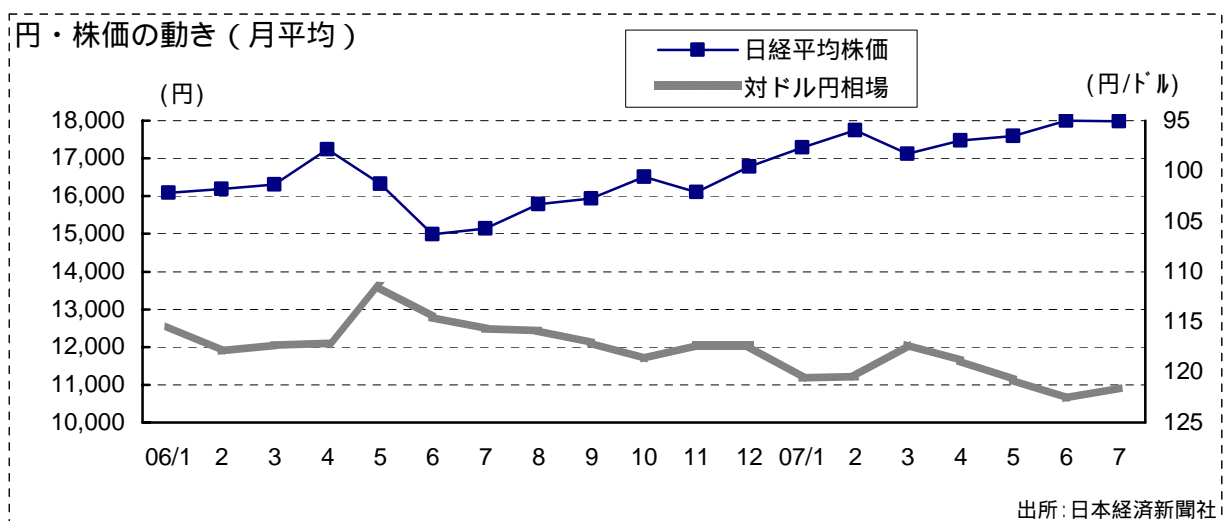
8月25日より9月2日まで大阪市長居陸上競技場にて「IAAF 世界陸上2007大阪」が開催されている。同大会はオリンピック、サッカーワールドカップと並ぶ「世界3大スポーツイベント」であり、1991年の東京大会以来16年ぶりの日本開催となる。第11回目となる大阪大会には203カ国・地域から約2,000人のアスリートが参加する。

世界陸上の開催により、大阪市を訪れる観光客は国内から約43万人、海外から約2万人と見込まれている。関経連の調査によると、大会期間中、選手や大会関係者、観光客が宿泊する大阪市内の主要ホテルは軒並み昨年同期比約10%増となる90%を越える高い稼働率を示しており、客単価も上昇している。また、観光収入や関連グッズの売上などでも大きな経済効果が見込まれており、関西大学 宮本勝浩教授によると、経済波及効果は大阪市で約265億円、関西全域では約300億円にのぼると試算されている。

実際に大阪市内では海外から訪れた人々に出会う機会が非常に多くなり、“国際都市”を体感することができる。世界のトップアスリートが集うという意味合いの大きさに加え、経済・文化観光・国際交流など多くの面で地域に与える効果が大きい。

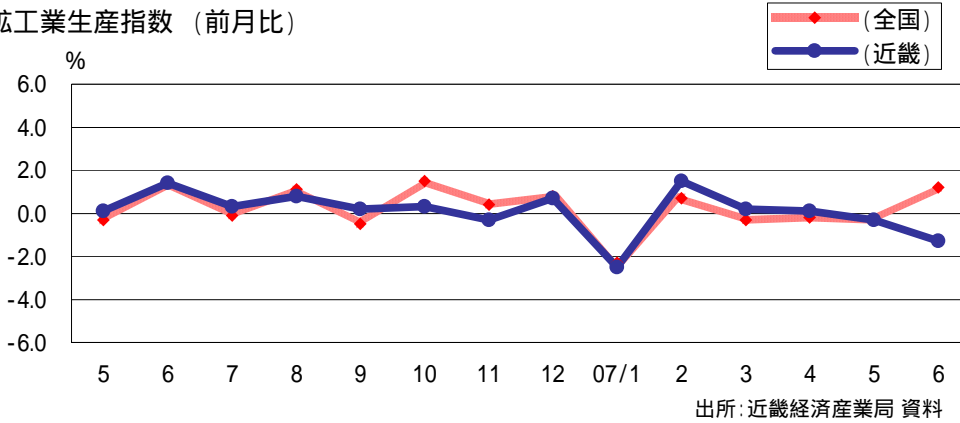
折りしも関西経済全体も堅調な推移を続けており、今回の世界陸上開催が関西地域のプレゼンス向上にさらに追い風となってさまざまな分野で波及効果が現れるよう期待したい。

各指標の動き



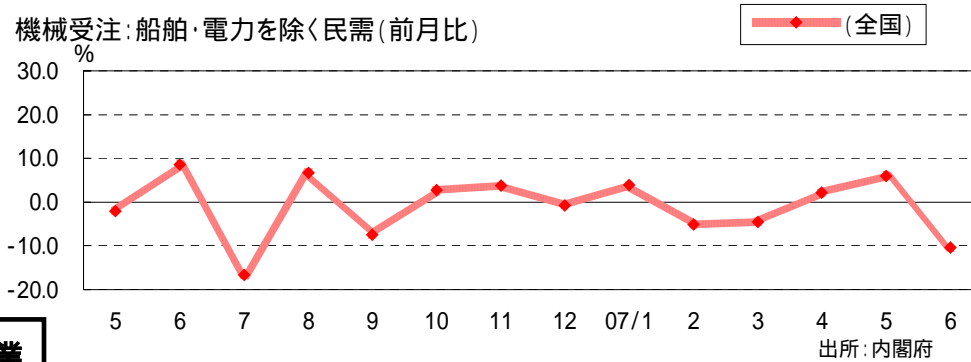
生産・機械受注

鉱工業生産指数 (前月比)



近畿は前月比 1.3% 減と 2 ヶ月連続で低下した。一般機械工業、化学工業（医薬品除く）、情報通信機械工業が低下に影響している。

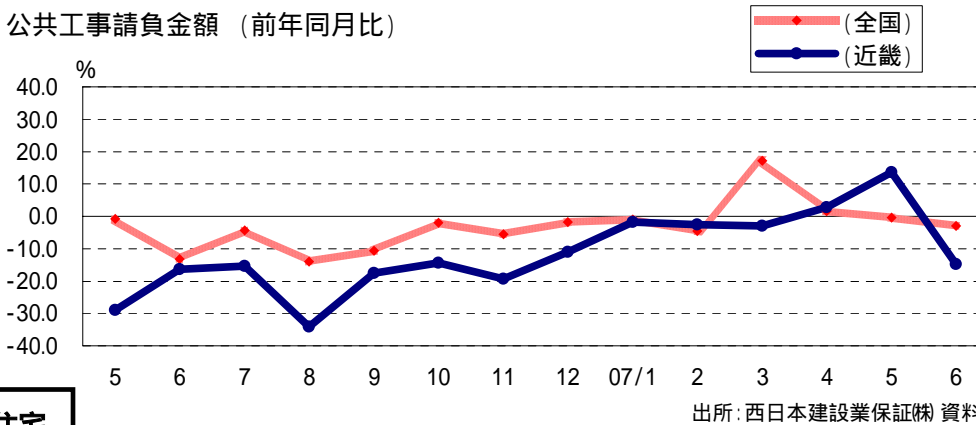
機械受注: 船舶・電力を除く民需 (前月比)



機械受注は前月比 10.4% 減となった。業種別の受注は製造業が同 11.4% 減、非製造業（船舶・電力を除く）が同 6.5% 減となった。

公共事業

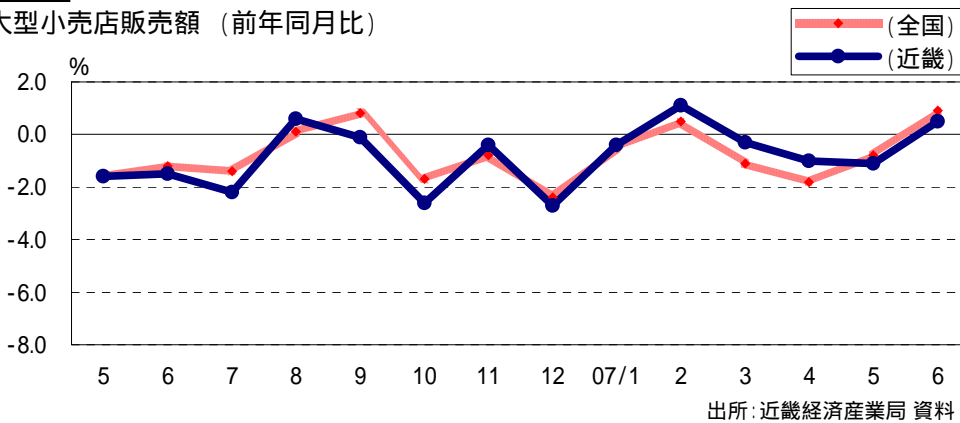
公共工事請負金額 (前年同月比)



近畿は前年同月比 14.8% 減。発注者別では「国」で近畿地整局の大型工事、「府県」で兵庫県での大型工事で増加したが「独立行政法人等」で前年度第二京阪道路、関空工事の反動により減少。

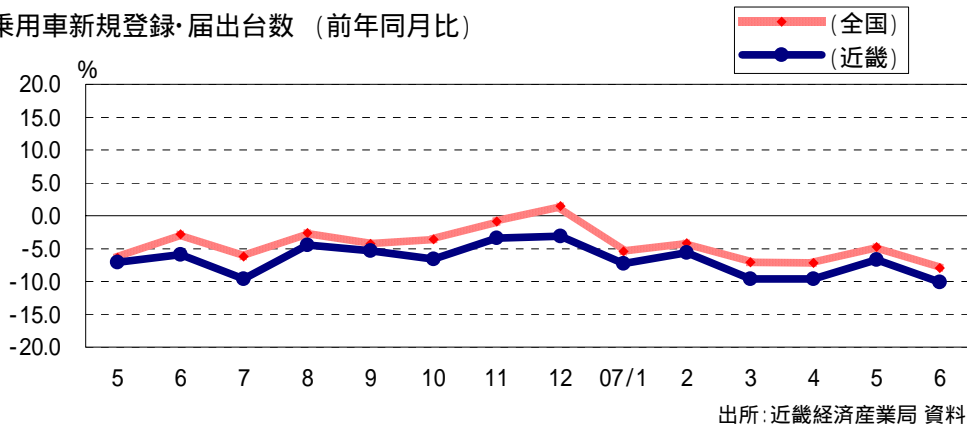
消費・住宅

大型小売店販売額 (前年同月比)



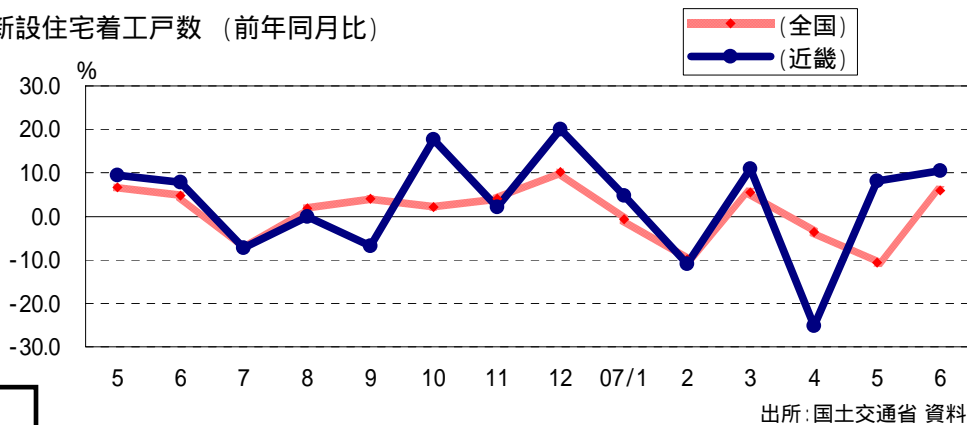
近畿は既存店ベースで前年同月比 0.5% 増と 4 ヶ月ぶりのプラス。土日・祝日が昨年より 1 日多く、夏のクリアランスが 1 日前倒しで 6 月 30 日（土）から始まったことが寄与。

乗用車新規登録・届出台数 (前年同月比)



近畿は前年同月比10.1%減と15ヶ月連続で前年を下回った。小型車が15ヶ月連続、普通車が4ヶ月連続、軽四車が3ヶ月連続で前年を下回った。

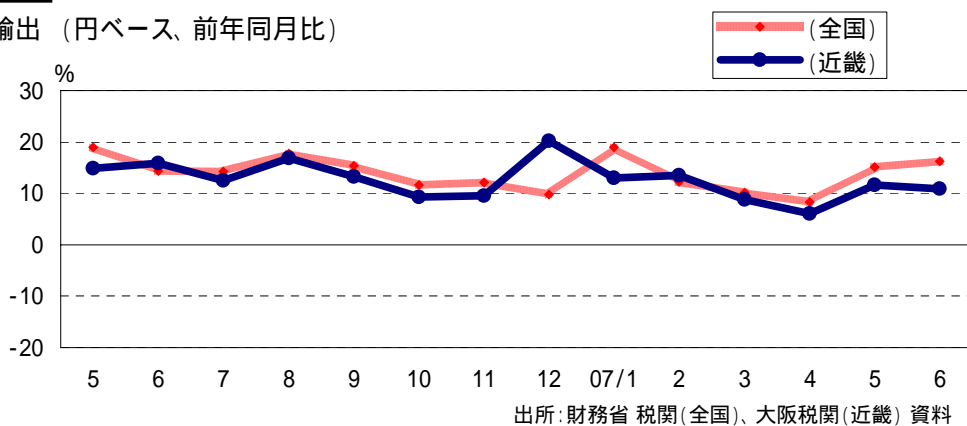
新設住宅着工戸数 (前年同月比)



近畿は前年同月比10.5%増となり2ヶ月連続で前年を上回った。持家が5ヶ月連続で前年を下回ったものの、貸家が2ヶ月連続、分譲住宅が2ヶ月連続で前年を上回った。

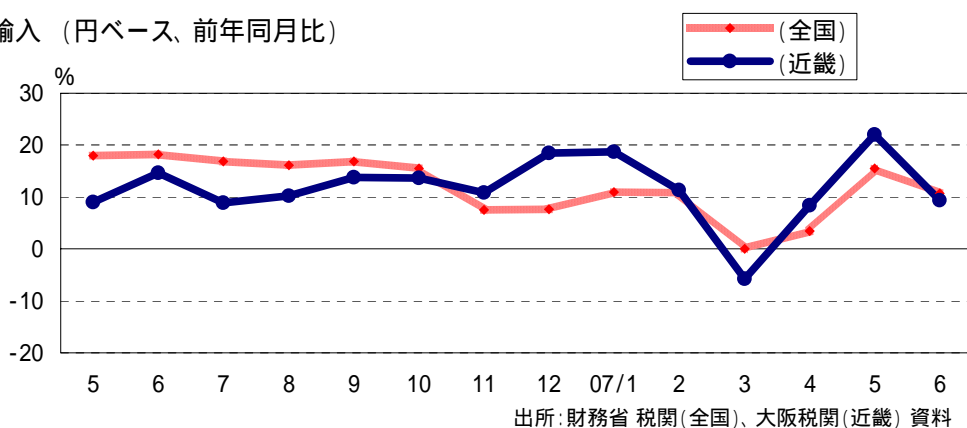
輸出入

輸出 (円ベース、前年同月比)



近畿は前年同月比10.9%増で63ヶ月連続のプラスとなった。中国向けの輸出は過去最高額を記録。

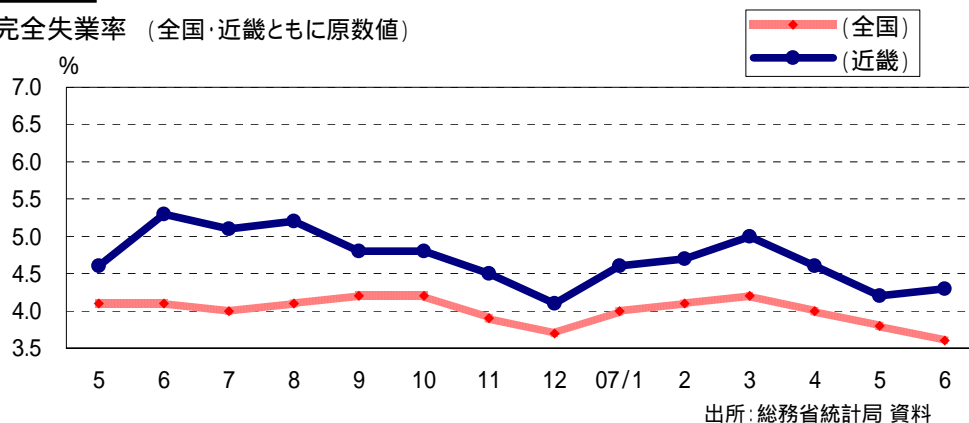
輸入 (円ベース、前年同月比)



近畿は前年同月比9.4%増となり、3ヶ月連続でプラスとなった。通信機、非鉄金属、玩具および遊戯用具、医薬品などの伸びが大きい。

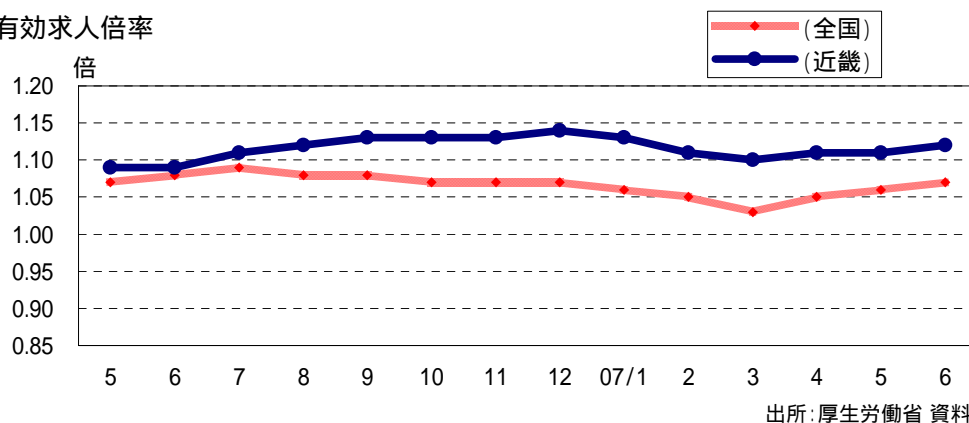
雇用・倒産

完全失業率（全国・近畿ともに原数値）



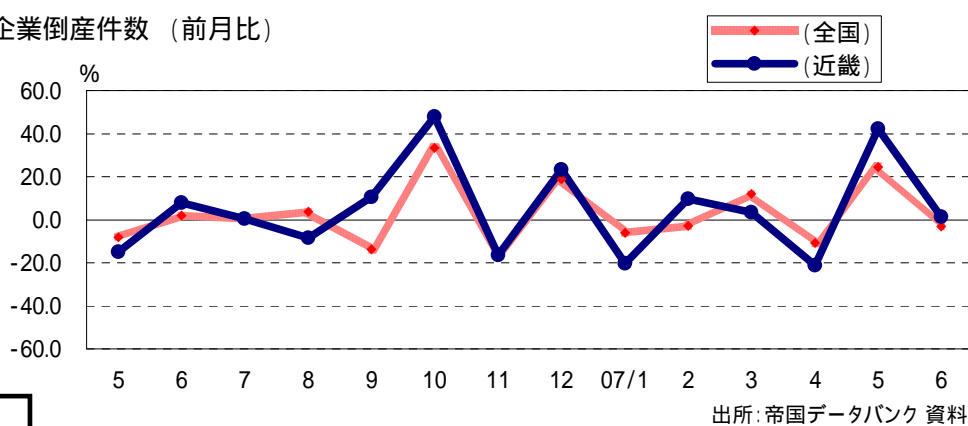
近畿の完全失業率は4.3%で、10ヶ月連続で前年を下回った。全国は3.6%となり、前月の3.8%よりさらに改善している。

有効求人倍率



近畿は前月から上昇し、1.12倍となった。引き続き全国（1.07倍）を上回る数値で推移し、改善が続いている。

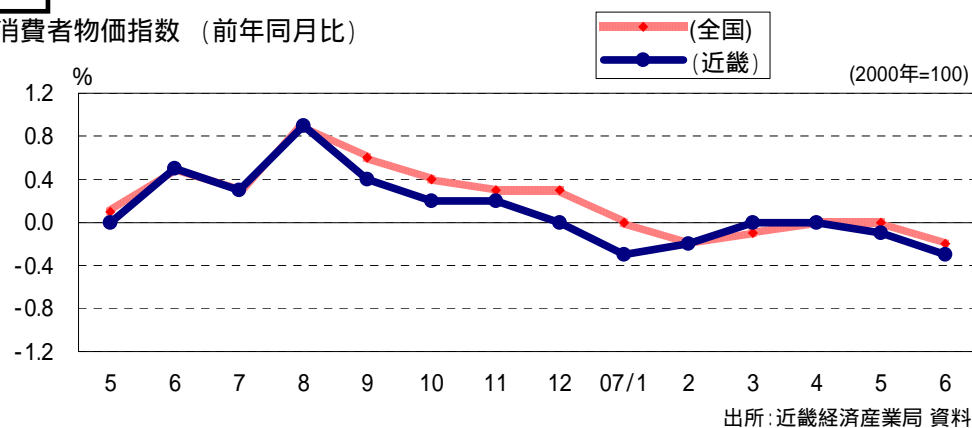
企業倒産件数（前月比）



近畿の倒産件数は前月比1.4%増。個人経営および資本金1000万円以下の企業が234件で全体の83.3%を占めている。

物価

消費者物価指数（前年同月比）



近畿は100.0で前年同月比0.2%減。教養娯楽、家具・家事用品、住居、食料、交通・通信が低下。